



メディア報道

The 12th East Asia Local and Regional Government Congress

第12回東アジア地方政府会合 メディア報道

テレビ、新聞、ニュースメディアなどを総合的に運用して会合に対して各方面、多角的な宣伝を展開した。CGTN(中国国際テレビ局)、「山東新聞聯播」は報道特集を放送し、山東衛星テレビで放送した。人民日報、新華社、中央放送テレビ総局など40余りのメディアが500個以上の特集記事を集中的に掲載し、クリック数は1億9000万回を突破した。中央テレビなどの主流メディアは活動報道を重点的に宣伝し、「今日頭条」、「新浪(SINA)」、「百度(バイドゥ)」、「テンセント」、「搜狐(Sohu)」などメディアで同時に発信し、山東テレビ放送局の「稲妻ニュースクライアント」と「稲妻ニュースのティックトック」、「快手」、「微博」、「ビデオ号」などのマトリックス・アカウントで終日生放送、画像生中継、中継リポートが行われた。同時に海外放送ブームを巻き起こし、日本の「奈良新聞」、韓国の「忠清日報」、ロシアの「スプートニク通信社」、ベトナムの「ニャンザン」など11社の海外メディアが50以上の記事を発表し、閲覧数は1000万回を突破した。会合前の準備時と、会合後の2回記者会見が行われ、臨沂市の張宝亮市長と隗新陽副市長は発表の挨拶を述べ、記者の質問に答えた。会合の盛況ぶりが広く伝わり、東アジア地方政府会合の国際的な影響力を力強く高め、臨沂市の国際的知名度と評判を高めた。



